

会長	副会長	幹事長	局長	次長	主 幹	係長	主係

## 第 8 回神崎町・大河内町合併協議会 新町建設計画小委員会会議録

開会日時 平成16年 8 月 5 日（木） 午後 7 時

場 所 神崎町ケーブルテレビネットワーク局舎

神崎町・大河内町合併協議会

## 神崎町・大河内町合併協議会小委員会委員名簿

### 第2小委員会（新町建設計画小委員会）

#### 協議会委員関係分

	氏 名	区 分	分 科 会	備 考	出 欠
1	奥野恒夫	第2号委員	総務文教	神崎町	出
2	高内直喜	"	産業建設	大河内町	出
3	井上秀男	第3号委員	民生福祉	神崎町	出
4	岩本精介	"	"	大河内町	欠
5	尾上徳美	"	"	神崎町	出
6	上垣博	"	産業建設	大河内町	出
7	高橋勝洋	"	総務文教	神崎町	出
8	立岩三代子	"	産業建設	大河内町	出
9	日和貞憲	"	民生福祉	大河内町	出
10	中山祐美子	"	総務文教	神崎町	出
11	廣納正	"	産業建設	神崎町	出
12	藤原博一	"	総務文教	大河内町	出
13	藤原鉄也	"	"	神崎町	欠
14	藤原安晴	"	民生福祉	大河内町	出
15	堀口勝久	"	産業建設	神崎町	出
16	松山陽子	"	民生福祉	大河内町	出

#### 町長指名委員関係分

	氏 名	分 科 会	備 考	出 欠
1	児島英雄	総務文教	大河内町	出
2	大仲正記	"	"	欠
3	大谷郁雄	産業建設	"	出
4	小寺敏樹	"	"	出
5	山下和彦	総務文教	"	欠
6	大中康寛	"	"	出
7	井上隆弘	産業建設	神崎町	出
8	西畑強	"	"	出
9	奥野恵作	"	"	欠
10	坂田篤彦	民生福祉	"	出
11	難波義博	"	"	出
12	藤原日順	総務文教	"	出

会 議 録

会議の名称	神崎町・大河内町合併協議会新町建設計画小委員会	
開催日時	平成16年 8月 5日(木) 開会 19時00分 閉会 21時02分	
開催場所	神崎町ケーブルテレビネットワーク局舎	
議長氏名	井上秀男	
出席者氏名	別紙「出席者名簿」のとおり	
欠席者氏名	別紙「欠席者名簿」のとおり	
会議事項	1 意見交換 (1) 新町における主要施策	2 会議結果 協議・検討
会議の経過	別添のとおり	
会議資料	別添資料あり	

会 議 経 過

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
内藤（事務局長）	<p>皆さん、ご苦労さまです。</p> <p>本日、第8回の新町建設計画の小委員会をご案内申し上げましたところ、お疲れで、またこういう蒸し暑い時期でございますが、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>早速でございます、初めに井上委員長からごあいさついたします。</p>
井上（委員長）	<p>失礼をいたします。皆さん、こんばんは。お疲れのところご苦労さんでございます。</p> <p>本日は第8回の新町建設計画の委員会が開催をされました。委員の皆様には、一日の仕事を終えられましてやれやれという時間帯でございます。大変お疲れの中ではございますが、そのお疲れ、おいとなくご出席をいただきましてまことにありがとうございます。</p> <p>本委員会も、委員の皆さん方の努力とご支援をいただきまして8回を重ねることになりました。その間、私たち委員会に与えられました新町建設計画の主要施策につきましても、大分まとまってきたようにも思います。</p> <p>本日は、既に皆さん方のお手元にお届けしております資料に基づきまして委員会を進めてまいりたいと思っております。皆さん方の忌憚のないご意見なりご提案をお願いを申し上げまして、一言ごあいさつとさせていただきます。本当に皆さん、ご出席まことにありがとうございます。</p>
内藤（事務局長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日は奥野恵作委員さん、山下和彦委員さん、藤原鉄也委員さん、岩本精介委員さんから、それぞれ欠席の連絡がございましたので、ここに報告を申し上げます。</p> <p>なお、大仲正記さんもおっつけ見えるかなと思います。</p> <p>また、パシフィックコンサルタンツからもご出席をいただいております。</p> <p>それでは、委員長、進行をよろしく願いいたします。</p>
井上（委員長）	<p>それでは、議事に入りたいと思います。</p> <p>本日の委員会は28名中24名の出席をいただいておりますので、会議規則の定足数に達しております。よって、会議は成立します。</p> <p>なお、今回につきましても発言の際はお名前をお願いをいたします。</p> <p>さて、本日の会議につきましては、前回7月14日、丸一日を費やして精力的にワークショップを行っていただきました新町における主要施策につきましても、資料にまとめていただいております。このとこ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
吉岡（事務局）	<p>ろにつきまして、3つの項目ごとに事務局から説明後、意見交換をいただくことになっております。</p> <p>まず最初に、資料のページ40ページからページ48ページまでの主要施策の体系が整理され、新たな3つの重点推進プランが示されております。この体系と概要を先に説明をしていただきまして、その後まちづくりの目標の「愛・やさしさ」～子どもからお年寄りまで豊かな愛情・やさしさにつつまれるまち～につきまして、主要施策ごとに事務局から説明をいただくことといたします。</p> <p>事務局、よろしく願いをいたします。</p> <p>本日はどうもお疲れのところをご苦労さまです。ありがとうございます。</p> <p>そしたら、説明は40ページから、4、新町における主要施策からさせていただきたいというふうに思います。</p> <p>そして、39ページまでの分、まちづくりの課題からについて、後、39ページまでの分につきましては、前々回、ワークショップのもう一つ前の7月5日でしたか、そのときに皆さんに貴重な意見をちょうだいして、修正箇所が何カ所がありました。その分について直させていただきましたんで、アンダーラインをその分は引いております。また、ご確認をしていただいて、そしてまたこれからもあと何回か小委員会ありますんで、ご意見をまたちょうだいしたらいいかなというふうに思っております。</p> <p>そしたら、4、新町における主要施策ということで、委員の皆さんにはA4で今お持ちの資料には40ページ、同じもんがついておると思うんです。今日はA4ではなくて、A4の分についてをこれコンパクトにまとめて、そして重点推進プランというのを向かって右側につけてます。前回までにお渡ししたこの主要施策の40ページ部分は廃棄をしていただいて、こちら側のA3判で、こっちが正式ですよということでお取扱いの方お願いしたいなというふうに思っております。</p> <p>この重点推進プランですけども、これは次のページ41ページから、そこにまた出てまいりますんで、そのときにご説明をさせてもらおうかなというふうに思っておりますので、よろしく願いしたいと思います。</p> <p>本日、後、主要施策のこれ、(1)施策の体系、あと(2)、さっき言いました重点推進プラン、(3)主要施策についてということで、3つに分けて本日は説明させてもらおうんですけども、これ全般的に言えますことは、事務局が想像して作ったものではなくて、あくま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>でも今までのワークショップを基本として委員さんの意見を尊重して作ったということですので、そこのご確認をひとつよろしくお願ひしたいなというふうに思います。</p> <p>非常に分量が多いので、今日一発でこれでいいやということには絶対にこれはならないと思いますんで、あくまでも本日こちら側が出させていただいたのはたたき台ということですので、どうぞ、委員長さんも言われましたように、忌憚のない意見をこの後出していただいて、この主要施策について豊富化をしていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいというふうに思います。</p> <p>そしたら、前置きが非常に長くなってまことに僭越なんですけども、そしたら40ページ、まちづくりの目標ということで、ここから読み上げて提案したいというふうに思います。</p> <p>「愛・やさしさ」～子どもからお年寄りまで、豊かな愛情・やさしさにつつまれるまち～ということで、次に施策の柱ということで、子どもたちが地域の愛情に守られて育つまちづくり、これについての主要施策として、多様な子育て支援サービスの推進、地域への愛着を育てる学校教育の推進、地域でのふれあい活動の推進。</p> <p>次に、施策の柱、ととくくっておりますが、お年寄りをはじめ誰もが生きがいと安心を感じて暮らすまちづくり、主要施策としまして4点、高齢者・障害者の社会参加の促進、自立支援・生活支援対策の推進、医療・健康づくり対策の推進、災害や犯罪を未然に防ぐ地域活動の推進ということで、これらの具体案としまして、重点推進プランとしまして具体的なまちづくりの提案でこういうのはどうかということが、横に書いてます身近な施設を活かした地域サロン推進プランということです。これは次ページで入っていきます。</p> <p>次に、「命・いきいき」～自然の恵みと共に生き、力強い命の躍動・活力をはぐくむまち～、施策の柱 地域風土と調和した生活・文化を創造するまちづくり、施策として、地域風土に調和した住環境の創出、快適な生活を支える基盤整備の推進、生涯学習・芸術文化活動の促進、生涯スポーツ活動の推進。</p> <p>施策の柱 美しい自然をまもり豊かな産業を育てるまちづくり、主要施策としまして3点、自然環境の保全・適正管理、豊かな自然を基礎とした農林業の振興、地域の魅力を創造・発信する商工業の振興ということで、施策の柱 ととあわせて重点推進プランとして、こういったプランはどうだろうということで、高原・里山・名水を活かした地域ブランド創造プランということです。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>最後に、「心・ふれあい」でございます。～住民どうしの顔が見え、人と人との心のふれあいが生まれるまち～、施策の柱、「まん中」という地の利を活かし交流を促進するまちづくり、これの主要施策としまして、観光地・観光施設の利用促進、地域全体の魅力化と特色ある交流活動の推進、広域的な観光・交流ネットワークの推進。</p> <p>柱としまして 住民・地域のやる気が活きるパートナーシップのまちづくり、主要施策としまして、まちづくりへの参画意識の醸成、住民による主体的な地域づくりの推進、効率的・効果的な行財政運営の推進ということで、施策の柱、 でこれらについての重点推進プランとして、住民・職員のやる気を活かした新たな行政推進プランということで上げさせていただいております。</p> <p>次、41ページに入らせていただきまして、(2)重点推進プラン、主要施策の推進に際し、新町の有する複合的な課題を一体的・総合的に改善していくことを目的とし、連動させながら実施することで、効果と効率が高まると考えられる取り組みを重点推進プランと位置づけます。</p> <p>新町においては、以下の3つのプランを重点推進プランとし、行政内部の各部局間の連携、さらには住民・事業者等との協働により推進していくものとしますということで、身近な施設を生かした地域サロン推進プランというのはどうだろうということで上げてます。これ、冒頭に言いましたように、これもワークショップの中で公民館とか集会所とかがなかなか活用されてない中で、それらを活用しての地域づくりはできないか、世代間交流とか子育て相談、また学童保育にかかわるようなこと、そして悩み相談、よろず相談、こういったようなことを行える場所の設定をする必要が要るのではないかというようなワークショップでの意見をもとに作っています。</p> <p>プラン設定の背景ということで、今言いましたことと重複するかもしれませんが、丸の1つとしまして、高齢者の地域とのかかわりが少ない状況にあり、世代間交流等による社会参加の場が求められています。</p> <p>次に、子どもたちを地域全体で守り、育てていく体制づくりが必要であり、地域の大人と子どもたちとの交流の機会や仕組みが求められています。</p> <p>次に、保護者の教育力が低下しており、保護者に対して日常的に子育て相談や指導が行える場が求められています。</p> <p>次の丸としまして、防犯や防災、交通安全等に係る日常的なパト口</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>ール、意識啓発、情報交換等のための場づくりが求められています。</p> <p>最後の丸としまして、既存の施設を住民のニーズに応じてさまざまに活用する必要がありますということで。</p> <p>下に行きまして、黒四角のひし形、プラン・取り組みの概要ということで、各集落・自治会等の単位で地域内の身近な公共施設等を利用した小規模かつ多様な機能を有する「地域サロン」を設置します。</p> <p>地域サロンは、日常的に地域の人々が集まり、地域のみんが一つの家族であるような意識のもと、以下のような活動が展開される場として機能させることとします。</p> <p>1つ目に、小・中学生等の子どもたちが放課後集まってきて、地域の人たちとのコミュニケーションを図る学童保育としての役割を担う。</p> <p>2つ目の黒点です、大人やお年寄りが子どもたちに地域の歴史文化や昔の遊びを伝えたり、自然の楽しさや怖さを経験させたりすることで、子どもたちの地域への愛着をはぐくむ。</p> <p>3つ目の点としまして、若い主婦が地域のお年寄りやベテラン主婦に郷土料理や生活の知恵等を教えてもらったり、気軽に子育ての相談をしたりできる。</p> <p>次に、地域の生活支援などに携わるボランティアなどが自由に集い、お互いの活動等に関する情報交換を行う。</p> <p>次に、住民による防犯パトロール、子どもたちやお年寄りの交通安全確保のための声かけ運動などの活動拠点となる。</p> <p>最後に、災害発生時において、迅速かつ的確に相互扶助活動が展開されるよう、町や地域の人に関するさまざまな情報の共有や防災対策に関する日常的な意識啓発が行われるということです。</p> <p>実現に向けた取り組みの案としまして、（短期的な取り組み）ということで、1つ目に、地域サロンの場所として地域内の公民館・集会所など身近な公共施設の活用を検討する。</p> <p>当面は、行政から、自治会等の呼びかけによりサロンにおける活動メニューを検討し、自治会住民やボランティアによる持ち回りでサロンの企画・運営を行う。</p> <p>次に、防犯パトロールや子育て相談など、地域住民の意識が高く、効果が見えやすい内容の活動を手始めに、各サロンでの活動計画や役割分担を検討する。</p> <p>次に、当面の地域サロンは週に1回ペースで、施設の開放や活動を実践するなど、住民の過度な負担とならないことに配慮する。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>次、施設に応じた改修費用や活動経費の一部は行政より助成する。</p> <p>次に、活動内容に応じた人材・ボランティアの登録制度を設け、各地域サロンへの人材の派遣、紹介等を行う。また、シルバー人材センターからの人材派遣も検討します。</p> <p>次に、各地域サロンでの活動の相乗効果を発揮するため、それぞれの活動をケーブルテレビ等を通じて共有化する。</p> <p>最後に、活動の活性化を図るため、特色あるサロン活動について表彰制度などを検討するという事で、矢印を入れまして、（中・長期的な発展の可能性）ということで、各地域の活動状況を踏まえ、サロンの集約・再編等を検討する。</p> <p>活動内容に応じて、NPO等の法人格を持つ組織による管理運営体制への移行を検討し、会費等の独自の運営資金による活動の安定化を図る。</p> <p>学校との連携により、学生の地域活動実践の場としての参加を受け入れ、将来の地域の担い手となる人材育成を図るとともに、地域雇用の場としての発展の可能性を探る。</p> <p>最後に、福祉、建設、防災、教育等に係る民間事業者に対し、地域の情報を提供する一方、資金提供や地域の問題解決に向けた技術提供を受けるなど良好な関係の構築を図るということで、これが発展の可能性ということで上げさせていただいております。</p> <p>次に、（重点推進プラン2）ということで、高原・里山・名水を活かした地域ブランド創造プランということでございます。</p> <p>これもワークショップを踏まえた中で、恵まれた自然を生かしたまちづくり、定住促進、交流促進などに向けたプランというようなことで提案をさせていただきます。</p> <p>プラン設定の背景（まちづくりの課題及びワークショップでの意見）から、1つ目に、地域の自然が荒れてきている状況が見受けられ、これらを価値のある自然として管理し、さまざまな活動の場として活用していくことが求められています。</p> <p>2つ目、豊かな自然を基盤とした農林業再生のキーワードは「付加価値化」であり、地域のブランドイメージをいかに生み出していくかが求められています。</p> <p>3点目、若者の定住促進に向けて、休耕田や里山などの自然との付き合い方を含めた地域性豊かなライフスタイルの提案が求められています。</p> <p>4点目、高原・里山・名水を活かした観光資源・施設は、その大半</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>が単独物としての集客力しか機能しておらず、相互の連携体制の強化による滞在性の強化が求められています。</p> <p>最後に、兵庫県の中央部という立地条件と比較的利便性の高い交通条件を生かし、周辺地域と連携しながら観光客等に滞留してもらうための新たな魅力づくりが求められています。</p> <p>下へ参りまして、プラン・取り組みの概要ということで、高原・里山・名水などを地域の「ブランドイメージ」として定着化させ、それら資源を付加価値を生み出す資源として保全していくとともに、以下のような活動が展開される場として機能させ、定住促進、交流促進を図ります。</p> <p>子どもたちが自然とのふれあいの中で、楽しさや怖さ、命のとうとさを学ぶ。</p> <p>次に、若者や女性等が自給的な農業を行いながら、旬の健康食材等を生産・消費し、スローライフを実現する。</p> <p>次に、農道や山道、水辺を生かしたウォーキングルートにより、人々の健康づくりが行われる。</p> <p>次に、森林ボランティア等による人工林の間伐と間伐材の多面的な利用が行われる。</p> <p>次に、姫路市等都市部住民が地域のファンとして定着することを目指し、西播磨、北播磨、但馬、丹波地域の自治体・団体などと自然の恵みを発進する交流イベント等に共同で取り組む。</p> <p>次に、JR播但線、播但連絡道路を利用する観光客などが、寺前駅、神崎南インターチェンジなどでおり、寄り道ですね、地域の健康食材などを購入する。</p> <p>次に、自然を舞台とした既存イベントと新しい体験メニューを組み合わせることで、地域内外住民の交流促進と地域内での滞在時間の長期化が図られ、宿泊施設等の利用がなされる。</p> <p>最後に、都市部住民、子どもを対象とした農林業体験教室や里山体験教室が開催され、観光・交通を通じた地域産業の振興がなされる。</p> <p>右側に行きまして、実現に向けた取り組み（案）ということでございます。</p> <p>（定住促進・産業振興に向けた取り組み）ということで、この四角の中では、新規就農希望者に対する空き家や農地の提供を行うとともに、営農指導など安心して農業を始められる体制づくりを行う。</p> <p>次に、学校教育の中で子どもたち自身が農作物を育て、収穫し、調理するなど、一連の作業を年間を通じて体験させる。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>次に、親水空間や散策道の整備など、子どもたちを初め誰もが安全に自然に親しめる場を整備する。</p> <p>次に、豊かな自然環境の中でさまざまな余暇活動等が行われるよう、既存観光施設を地域の住民ニーズに応じて更新する。</p> <p>次に、森林組合、設計業者、施工業者及び行政との連携・協力体制の構築により、人にやさしく、地域環境に調和した低廉な産地直産住宅の提案、建設を促進する。また、公共施設整備、観光地整備等においてもさまざまな用途に地元材の活用を促進する。</p> <p>最後に、ユズや炭などを生かしたさまざまな加工特産品の開発を行うとともに、それら地元生産物を地域住民及び来訪者が購入・消費する場（地産地消）として、駅前等の利便性の高い地域での商店街、商業集積の再生を図る。また、そのため、空き店舗の活用・あっせんなど店舗誘致に向けた支援を実施する。</p> <p>次に、（交流促進に向けた取り組み）です。</p> <p>現在の観光施設の利用促進に向け、一度来ていただいた方に再度お越しいただくための優待制度を検討する。</p> <p>次に、越知川名水街道のような既の実績のある地域内回遊コースの拡大やスタンプラリーの導入などにより、観光地、観光施設等をつなぐ仕組みづくりを行う。</p> <p>次に、住民・行政の協力のもと、身近な環境の美化及び観光動線、観光ルートですね、観光動線を意識した公共空間の緑化植栽により観光地間の美しい風景を創出する。</p> <p>次に、地域での本物の農林業体験を観光メニューとして定着させるため、地元農家や営林家、住民等を体験学習のインストラクターとして育成するとともに、四季を通じた多数の体験プログラムの創出を図る。</p> <p>次に、砥峰・峰山の「高原」や越知川の「名水」を特産品や観光メニューのネーミングに活用するなど、地域ブランドとしてのイメージ戦略を図る。</p> <p>次に、西播磨、北播磨、但馬、丹波等周辺地域との共同特産市の開催や体験観光に係るメニューのタイアップ、観光ルートの制定など、圏域全体としての滞留性強化に向けた連携を行う。</p> <p>次に、東西方向の道路網の整備促進により、旧両町間の観光連携の強化はもとより、西播磨と北播磨、丹波地域間の連携強化に取り組む。</p> <p>最後に、JR播但線の電化区間の延長や京阪神地域からの観光直通</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>電車の運行などについて、鉄道事業者と関係機関への働きかけを行うということでございます。</p> <p>次、めくってもらって、43ページに入ります。</p> <p>住民・職員のやる気を生かした新たな行政推進プランということで、これは行政任せではなくて住民が主体となったまちづくりを行うのに、これ仮称として地域自治組織、例えば 塾、有名なのでは近隣では生野塾とかといった、そういった田舎塾みたいなそういうような名前でもよろしいかと思うんですが、そういったことで地域審議会的なものを住民主体で作って、行政に意見を述べ、まちづくりに参加すると。行政はコーディネーター、まとめ役という プラン制定の背景ということで、（まちづくりの課題及びワークショップでの意見）からなんですけども、1つ目に、財政状況が非常に厳しい状況にあり、限られた人材、財源と既存の資源を最大限に活用し、行政運営経費の削減を図っていくことが求められています。</p> <p>2つ目に、上記のような状況にある中、町のさまざまな課題を行政の取り組みだけで解決していくのは困難であり、住民の主体的なまちづくりへの参画が求められています。</p> <p>3つ目に、環境問題などのより広域的な問題に対して住民の意見を集約できる組織・仕組みを構築することが求められています。</p> <p>最後に、まちづくりへの参画に対する意識についての地域格差を縮小するため、活動の重要性等に関する意識啓発を行っていく必要があります。</p> <p>下側行きますして、プラン・取り組みの概要。</p> <p>行政運営経費の削減を図るためには、住民や地域自身ができることはみずから行うことを前提とし、行政の果たすべき役割、使命を再認識することで、行政として経営資源（人、財源）を投入する分野・取り組みを見定める必要があります。</p> <p>そこで、以下に示すような新しい住民と行政の関係による行政運営の推進をいたします。</p> <p>1つ目に、まちづくりの計画策定や事業の推進等に関し、住民意見の効果的な把握・集約を行い、地域の実情に応じた事業・施策推進に向けた協議を行う。</p> <p>次に、事業や施策の実施後は、実施に伴う目標の達成状況を評価し、当該施策推進の見直しを行うなど、常に事業の目的や効果を意識した施策推進を行う。</p> <p>次に、公共施設については、施設の位置づけや利用状況等を勘案</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>し、他の施設への転用や統合等を含め、既存ストックの利用増進に向けた対策を講じる。</p> <p>次に、事業や施策の内容によっては、住民と行政の役割を設定して、それぞれに一定の責任を持たせ、それぞれの活動の進捗状況に対する評価を実施する。</p> <p>次に、身近な課題の解決は、前述の集落・自治会単位での地域サロン活動等を通じた相互扶助により、住民が協力して総合的に対応する。</p> <p>次に、小学校区等のまとまったエリア全体の問題に対し、協力・連携しながら解決していくべき体制として、複数の自治会で構成する（仮称）地域自治組織の設立を検討する。</p> <p>地域自治組織では、特色ある地域づくりの計画やルールづくりなどに主体的に取り組み、各集落・自治会における地域サロンなどと連携しながらその実践に携わる。</p> <p>右側に行きまして、実現に向けた取り組み（案）でございます。</p> <p>（主体的な住民自治の仕組みづくりに向けた取り組み）としまして、1つ目に、小学校区程度の単位ごとに地域自治組織の形成促進を目指す。</p> <p>次に、地域自治組織のメンバーは、各自治会の老人会や婦人会、営農・営林組織、PTA、消防団等を加え、相互のネットワーク化を図る。</p> <p>次に、各自治会は、近隣地域における最も身近で基礎的な住民団体であり、地域自治組織と自治会、地域サロンが相互に連携し、多様な課題に取り組む。</p> <p>最後に、なお地域自治の仕組みづくりは、将来の住民と行政の協働のあり方の根幹をなすものであり、制度としての確立に向けては実証的な取り組みを検証しながら、十分かつ慎重な議論が必要である。</p> <p>下へ参りまして、（効果的なサービスの提供に向けた行政内部の取り組み）ということです。</p> <p>1つ目が、職員を地域自治組織等に参加させ、個性ある地域の計画づくり等に関するコーディネーターとして、また行政関係機関との調整役として機能させることで、住民と行政の顔の見える関係づくりと真に住民が必要とする人材の確保・育成を図る。</p> <p>次に、各地域自治組織の意見が行政施策に反映され、主体的な活動を制度として支援するよう、まちづくり条例などの策定を検討する。</p> <p>次に、地域自治組織の果たすべき機能や法的位置づけなどを踏ま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>え、町から地域自治組織に対して身近な公共的活動に係る行政事務の委託を検討する。その際、町は所要の財源を措置する。</p> <p>次に、地域自治組織の活動に対しての行政支援として、公民館等活動拠点の整備・充実、リーダー育成に向けた研修会の開催、合併特例債による振興基金の適応、さらには国・県を含めた各種助成事業等の情報提供と利用促進等を検討する。</p> <p>次に、旧両町に有する公共施設や観光施設のうち、類似の機能を有するものについて、今後の機能分担等の考え方について一定の整理を行い、住民のニーズや利便性を十分に勘案した適正配置や機能の更新（拡大、縮小、転用）などを行う。</p> <p>次に、ケーブルテレビを用いた効率的な行政サービスの提供や住民意向の効率的・効果的把握、さらには地域自治組織の活動支援に向けた各種情報提供や活動情報の共有化システムを構築する。</p> <p>最後に、行政評価システムの導入を図ることにより、住民にもわかりやすい目標の設定（犯罪発生件数 件以下など）を図り、住民とともにその達成に向け最大効果を発揮するための柔軟な行政組織の再編（縦割りの解消）を図るといってごさいます。</p> <p>これが、今言いましたのが、重点推進プランの3つについて説明をさせていただきました。</p> <p>次に、主要施策になりますね。施策の柱ごとの主要施策についてのご説明ということになります。</p> <p>これの1)「愛・やさしさ」の分までで説明をさせていただきたいと思います。</p> <p>1)「愛・やさしさ」～子どもからお年寄りまで、豊かな愛情・やさしさにつつまれるまち～、この施策につきましても、これ冒頭に申しましたように、ワークショップでの意見を最大限反映させていただいてご提案させていただいているというわけでごさいます。</p> <p>子どもたちが地域の愛情に守られて育つまちづくり、黒四角、多様な子育て支援サービスの推進。</p> <p>行政による子育て支援サービスの充実方策として、住民ニーズに応じた未就学児童に対する保育サービスの充実及び学童保育機能の強化を図ります。</p> <p>次に、学童保育機能の強化に向けては、児童館の建設を促進するとともに、既存の児童館や公共施設における子育て相談体制の確保を図ります。</p> <p>次に、未就学児童に対する保育サービスとしては、延長保育・時間</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>制保育、一時預かりのことだと思っんですけども、そういう意味で書いてます、などの推進を図ります。また、多様な主体による託児サービスの実施に向けた支援を行いますということで、下側にまとめを書いております。</p> <p>主な事業・取り組みとしまして、子育て支援施設の充実ということで、事業取り組みの内容は、1つには児童館の建設、もう一つにはきらきら館や既存公共施設等を活用した子育て相談・子育て教室等の開催ということです。</p> <p>次に、多様な保育・託児サービスの充実ということで、これの内容としまして、1つに幼稚園における保育機能の充実、もう一つとしまして、通園バスの配備、延長保育・時間制保育などの推進、次に、最後にシルバー人材センターやNPOなどによる託児サービスの実施支援ということを上げさせていただいております。</p> <p>下へ参りまして、下の黒四角、地域への愛着を育てる学校教育の推進。</p> <p>学校教育においては、施設・整備等に係る環境整備（ハード）と特色ある教育内容の充実（ソフト）を図ります。</p> <p>次に、ハード面では耐震基準に満たない小・中学校の校舎、体育館等の補強、改修整備、さらには老朽化設備の更新などを進めます。また、その際には少子化に伴う学校統合の方向性等に関する十分な検討を行い、必要な設備を進めることとします。</p> <p>次に、ソフト面では少子化対策として今後も山村留学の受け入れを進め、子どもの人間形成に向けた交流機会を創出していきます。また、地域の特色である豊かな自然や第1次産業、伝統文化など、地域の風土を肌で感じ学習する機会を学校教育の中に取り入れるなど、地域への誇りや愛着をはぐくむ教育を推進します。</p> <p>そのためにも、学校での教育内容に対し、家庭や地域住民が積極的に参画できる仕組みについて検討を進めていきますということで、次めくっていただいて、そのまとめが四角囲みの表でございます。</p> <p>主な事業・取り組みとしまして、学校施設の環境整備、内容としましては、耐震基準に満たない小学校校舎等の耐震補強整備、次に、中学校校舎・体育館の耐震補強整備、次に、通学圏や子どもの教育環境に配慮した学校統合の推進とそれに伴う施設の適正配置、そして最後に、パソコン等情報化社会への適応能力育成のための設備の充実。</p> <p>主な事業としまして、次に、特色ある教育内容の充実ということで、山村留学制度の継続、次に、自然体験・第1次産業体験などを通</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>じた地域風土に関する体験学習プログラムの導入、最後に、学校運営に保護者や住民が参画する地域運営学校の創設を検討するというところでございます。</p> <p>次の四角囲みとしまして、地域でのふれあい活動の推進というところでございます。</p> <p>地域住民の主体的な活動として、犯罪に対する子どもたちの安全確保や世代間交流を通じた心と体のバランスがとれた健全育成を進めていきます。</p> <p>次に、安全確保に向けては、町内要所における見守り運動、あいさつ運動等の地道な活動を展開するとともに、死角等がなく安心して遊べる身近な遊び場の確保に努めます。</p> <p>最後に、世代間交流については、重点推進プランで上げた地域サロンにおいて、地域の大人や高齢者が子どもたちに自然とのつき合い方や受け継がれてきた地域文化を教えるなど、多様な交流活動を進めますということで、そのまとめについて下側に上げさせていただいております。</p> <p>確認のため読み上げますと、主な事業・取り組みということで、子どもたちの安全確保、内容としましては、子どもたちが安心して通学・生活するための見守り・あいさつ活動の実施。</p> <p>次に、子どもたちが安心して過ごせる身近な遊び場の確保ということです。</p> <p>主な事業・世代間交流の促進ということで、これの中身につきましては、1つ目が、地域の大人・子どもが日常的に集まる地域サロンの設置、次に、地域のボランティアや高齢者による自然を使った遊び・体験教室の開催。</p> <p>最後に、子どもたちへの地域の伝統・民俗文化の伝承ということでございます。</p> <p>次に、お年寄りをはじめ誰もが生きがいと安心を感じて暮らすまちづくりということで、黒四角、高齢者・障害者の社会参加の促進。</p> <p>高齢者・障害者の社会参加の促進に向け、活動促進のための公共空間整備、地域でのふれあい活動への参画支援及び就労機会の充実を進めます。</p> <p>次に、公共空間の整備に向けては、公共空間のバリアフリー化を初め、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備を進めます。また、高齢者・障害者等の日常的な生活ニーズに即した移動の手段として、コミュニティバスの柔軟な運行のあり方を検討していきま</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>す。</p> <p>社会とのつながりの中で、高齢者や障害者が生きがいを見出せるよう、クラブ活動や地域サロンでの高齢者・障害者相互の交流機会、子どもたちとの交流機会の充実を図ります。</p> <p>就業対策としては、シルバー人材センター等の受け皿組織の活動支援とともに、意欲のある中高年、障害者による起業支援や職業訓練等の実施を進めますということで、下側にまとめを書いています。</p> <p>次に、黒四角の自立支援・生活支援対策の推進ということで、高齢者や障害者を初め介護や生活支援等を要する方々に対し、家族のぬくもりが感じられる在宅でのサービス提供を基本に、各種サービスの効果的・効率的提供を図ります。</p> <p>次に、在宅介護サービスとしては、家族や地域での相互扶助活動を支援するものとして、その内容の充実に努めるとともに、施設面においては住民ニーズに応じた既存施設の効率的な運営や機能更新及び民間におけるグループホームなどの設置支援等に努めますということで、下側にまとめを書いております。</p> <p>次に、医療・健康づくり対策の推進でございます。</p> <p>病気やけがをしない健康づくりや健康管理体制の充実と発病時等において安心して医療を受けられる体制の充実を進めます。</p> <p>次に、公立神崎病院を中心とした地域医療体制の充実や中播消防事務組合を中心とした救急・休日急患体制の維持・充実に努めます。</p> <p>次に、保健福祉センター等における従来の健康指導、健康相談サービス等を推進する一方、訪問看護やケーブルテレビによる在宅での健康管理システムの充実を進めますということで、下側にまとめを上げています。</p> <p>48ページ、災害や犯罪を未然に防ぐ地区活動の推進。</p> <p>災害発生時の被害の低減や犯罪の未然防止に向け、日常生活を通じた意識の醸成と活動の展開を図ります。</p> <p>次に、特に住民同士の日常的な顔の見える関係づくりが重要であり、住民相互によるあいさつ運動や地域内パトロールの実践により、その推進に努めます。</p> <p>次に、自然災害の防止対策として、砂防事業や治山事業を推進します。また、自主防災機能の強化に向け、地域サロン等において日常的な防災情報の共有化や意識啓発を図るとともに、災害発生時における住民一人一人の的確な行動を喚起する防災訓練の実施を行います。</p> <p>最後に、また事件・事故、災害発生時にその情報を目撃者等が発信</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>し共有化を図ることで、迅速な解決や災害の拡大抑制につながるシステムの構築を進めますということで、下側にまとめを上げています。</p> <p>非常に長時間になって申しわけなかったんですが、ここで一たん切らせていただきたいというふうに思います。どうもありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいま説明がありました新町における主要施策の体系及び重点推進プラン、そしてまちづくりの目標の3つの柱のうち、「愛・やさしさ」～子どもからお年寄りまで、豊かな愛情・やさしさにつつまれるまち～という目標に対する主要施策から、意見交換に入りたいと思います。</p> <p>どなたからでも結構でございますので、ご意見、ご提言をお願いをいたしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>どうぞ。</p>
大中委員	<p>大河内町、大中です。</p> <p>地域サロンという言葉がたくさん出てきましたけれども、各集落、自治会の単位ということなんですけども、大河内やったら今20単位の集落があるんですけども、それをそのまま各1単位の地域サロンとして持っていくのか、それとももう少し大きい範囲で地域サロンを作っていくのか、その辺はどうなんでしょう。</p>
浅田（事務局）	<p>先ほどのご質問に対して、地域サロンのいわゆる自治会の組織的なあり方、いわゆる集落が大河内でも小さい集落もあれば大きな集落もありますんで、そのあたりはやはりその地域にいらっしゃるいわゆるご協力いただける住民の皆さん方の力というものが必ず必要になってまいりますので、いわゆるそのあたりは集落単位の基礎というようなものを十分に協議をさせていただきながらやっていくという形でないかと、恐らく行政集落、大河内には20集落、一方神崎には19集落、計39の行政集落がございますので、それすべてにこれが適用されるのかどうかというのは大きな課題でございますので、最終的にはすべてできれば一番いい形ですけれども、この地域サロンも福祉の方で出ておりましたいわゆるミニデイとか、そういったものの関連性も含めながら考えていければどうかなというふうに思っております。</p> <p>今の段階では、以上ぐらいなんですけども。</p>
大中委員	<p>常識的に考えたら、生活の知恵を伝えたいお年寄りはたくさんいると思うんですよ。でも、それを伝えられる側の若嫁、それからお子さん、そういうふうなのは先ほど浅田担当が言われたように、人数の少</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局）	<p>ないところもたくさんあるので、その辺のたたき台になるような単位数がもう既に決められつつあるのか、それともまだ全く白紙の状態なのか、そういうところだけちょっとお聞きしたかったですけども。</p> <p>基本的に、この地域サロンという言葉が出てまいりましたのは、前回までの各委員さんによるワークショップの中でこういうふうな固まりが将来的にいわゆる家族ぐるみのようなつき合いができればなというふうな意見交換がありましたものを、私ども、コンサル業者という調整する中で、本日この地域サロンという言葉を使わせていただいております。</p> <p>大河内の方でも、月に1回ですかね、鍛冶の方でふれあい喫茶というふうなことをされたりしておりますし、それに少し近いものなのかなというふうな思いはいたしておりますけれども、私どもは現段階ではこれについての詳細な詰めというんですか、そのあたりは今後大きな課題としてやっていかなければいけないなとは思っておりますけれども、大中委員さんが言われるような、どういう形でどういうプロセスでといったところまではちょっと至っておりませんので、大変申しわけないですけど、今後の課題ということでご了解いただければと思います。</p>
大中委員	わかりました。ありがとうございます。
井上（委員長）	<p>ほかに。</p> <p>どうぞ。</p>
日和（副委員長）	<p>大河内の日和です。</p> <p>私、5日の議会でも申し上げたと思うんですが、この主要施策の中で力強さというのがどうも余り感じられないなというふうに実は思っております。</p> <p>この今1番目の「愛・やさしさ」ということですから、力強さよりもやさしさということかと思うんですが、ここにもありますように子ども、そしてお年寄りとあります。しかし、若者についてのこの施策というのは、その次から3、4、5、6、「命・いきいき」あるいは「心・ふれあい」ということになろうかと思っておりますけれども、いわゆる若者に対する、若者という言葉がまず余り出てこないんです。そういうことから、もう少し若者に魅力のあるまちづくりということをも入れていただけたらなというふうに考えます。</p> <p>したがって、この最初の1番、2番の間に入るのか、あるいは3、4、5、6がそれらを言ってるのか、その辺もう少しその若者という言葉が入らないものかどうかをご検討いただけたらというふうに考え</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>ます。</p> <p>以上。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>どうぞ。</p>
藤原（日）委員	<p>神崎町の藤原です。</p> <p>地域の底力というのはやっぱり教育がベースになってくるんじゃないかというふうに私は考えるわけなんですけども、そこで45ページの事業・取り組みの内容に書いてあるこの一番下なんですけども、学校運営に保護者や住民が参画する地域運営学校の創設と書いてあるんですけども、具体的にどういうことを指しているんでしょうか。</p>
吉岡（事務局）	<p>済みません、ちょっと答えになるかどうかわからないんですけども、コミュニティスクールというようなことで、要は建物については自治体が造って、中の運営については地域がカリキュラムを組むとか、そういったことをイメージして、ちょっと僕もまだそこまで深く学習してないんですけども、たしかそれができるようになるというようなことで、コミュニティスクールということイメージしてちょっと入れさせてもうたということなんです。</p> <p>以上でございます。</p>
井上（委員長） 日和（副委員長）	<p>ほかに。</p> <p>済みません。先ほどの関連ですが、これは学校ですからいわゆる法的なもんという前提じゃないということでしょうか。もしもそれが前提でありますれば、公立という学校の中の運営についてということであるのであれば、今されてます学校委員ですか、何かそういうものがありますか、それとの兼ね合いはどうなんでしょうか。</p>
河野（課長）	<p>大河内町教育委員会の河野です。</p> <p>ここで地域運営型ですが、この分については今2つの考え方があったと思います。地域が学校運営に携わっていくというのは、この辺は今からの学校運営のあり方かと思います。学校の運営を地域に示し、その評価をまた地域から得ると、そういった活動の中で現在学校評議員というような方が選任されております。こういった方々が地域と学校のパイプ役になるというような形が1つあります。</p> <p>それからもう一つ、学校の授業においても今は地域の方が教壇に立つというような形で地域の達人といいますか、そういった地域に専門的な部分でたけた方が学校の中に入って子どもたちに指導していくと、そういったことで地域が学校を支えていくというような取り組みが今なされております。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
藤原（日）委員	<p>こういったことを中心として、表現としては地域運営学校というような表現になっておるといようなとらえ方をしております。</p>
河野（課長）	<p>新しいものというんじゃなくて、現在されているその評議員制度、それから地域の地域講師というか、そういったのを一層進めていくということで考えたらよろしいんでしょうか。</p>
井上（委員長）	<p>はい。今からの学校については、それぞれ授業の中で決められたカリキュラムを教えるだけということだけでなく、新しく自分たちが課題を見つれたり、その解決する力を養っていかうとするような取り組みが今進められておりますので、そういった流れに沿っていきますと、地域の方々が学校の中に入っていくと、そういった部分では今後さらに充実するというふうな取り組みが進められるものということでございます。</p>
井上（委員長）	<p>ほかに。 〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ほかにないようでございますので、次に2つ目の柱であります「命・いきいき」～自然の恵みと共に生き、力強い命の躍動・活力をはぐくむまち～につきまして、事務局の説明をお願いをいたします。</p>
吉岡（事務局）	<p>失礼をします。長時間になりまして、まことにありがとうございます。</p> <p>そしたら、2）「命・いきいき」～自然の恵みと共に生き、力強い命の躍動・活力をはぐくむまち～ということで、地域風土と調和した生活・文化を創造するまちづくり。</p> <p>地域風土に調和した住環境の創出ということで、地域への定住を促進するため、条件のよい宅地・住宅の供給や地域風土に合ったライフスタイルの理解、醸成と普及、さらには多様な就業環境の整備を進めます。</p> <p>地域風土に合ったライフスタイルの推進に向けては、地域材を使った環境共生住宅の建設促進を初め、U、J、Iターン層が自給的農業を営むための休耕田や空き家の利用増進を図るなど、営農・営林組織との連携による取り組みを進めます。</p> <p>次に、ケーブルテレビネットワークの高速通信環境を生かしたスモールオフィス・ホームオフィススタイルや、これは事務所を離れてネットワークを利用して自宅で仕事をするといった形態のことで、や地域サロンを拠点としたコミュニティビジネスの立ち上げなど、地域に根づいた形での就業形態を支援しますということで、下側にまとめを書かせていただいております。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>次の黒四角、快適な生活を支える情報基盤の推進。</p> <p>生活利便性・快適性の向上を目指し、身近な道路網の整備を進めるとともに、ケーブルテレビ未整備地域への情報通信の整備拡大を進めますということで、さらには上下水道基盤の整備を進めますと書いてますけども、かなり整備はもう進んでますんで、ここはとらせていただいて、情報基盤の整備拡大を進めますというふうに変更させていただきます。どうも申しわけございません。</p> <p>次に、道路網については、町道の未改良路線の整備促進を図るとともに、公共施設等の主要施設への主なアクセス道路となる県道の改良促進を要望していきます。</p> <p>情報通信環境の地域間格差の解消に向け、ケーブルテレビ基盤の整備拡大や携帯電話の不通話地区の解消を図ります。</p> <p>最後に、水道の安定供給、下水の適正処理に向けた施設の改修・更新を図りますということで、50ページにまとめを書いてます。</p> <p>次に、黒四角、生涯学習・芸術文化活動の促進。</p> <p>地域内での自己実現や特色ある地域文化の創造に向け、地域学習の機会充実や芸術文化活動の促進を図ります。地域を代表する歴史資源である福本遺跡を初め歴史を身近に感じることのできる環境整備やそれらを学習・継承していくための体制づくりを進めます。</p> <p>次に、芸術・文化サークル活動の活性化に向け、一流の芸術作品等に触れる機会の充実や活動の成果を発表し合う新町が一体となった交流イベントの開催を進めますということで、下側にまとめを書かせてもらってます。</p> <p>次、51ページに入りまして、生涯スポーツ活動の推進。</p> <p>新町内の充実したスポーツ施設を生かし、健康増進活動の推進とスポーツ交流の推進を図ります。</p> <p>健康増進活動の推進に向けては、スポーツ施設の利用環境の充実に努めるとともに、地域内の魅力あるウォーキングコースの設定を進めます。</p> <p>スポーツ等を通じた住民相互の交流促進を図るため、全町的なスポーツ大会を企画・開催するとともに、その会場ともなる施設の更新・改修を進めます。</p> <p>下側にまとめを書いております。</p> <p>52ページ、美しい自然をまもり、豊かな産業を育てるまちづくり。</p> <p>自然環境の保全・適正管理。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>豊かな自然環境を保全するとともに、自然の有する価値を世代を超えて受け継いでいくため、適正な管理や自然との触れ合い環境の整備を進めます。</p> <p>自然環境の保全に向けては、分別回収の徹底等による廃棄物の適正処理や不法投棄や環境汚染等に対する監視の仕組みづくりなどにより、対応を進めていきます。</p> <p>地球環境への負荷低減に向けては、自然エネルギーの開発と活用促進に努めます。</p> <p>森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能、木材等生産機能、地球環境保全機能など、多様な機能の保全に向け森林ボランティア等の協力を得ながら適正な管理を進めます。</p> <p>さらに、地域の自然が日常生活における魅力となり、子供たちの心のよりどころとなるよう、安全に自然に親しめる空間や体験活動の場づくりを進めますということで、下側にまとめを書いています。</p> <p>次に、53ページ、豊かな自然を基礎とした農林業の振興。</p> <p>農林業の振興に向け作業環境の向上とともに、2次産業、3次産業との連携による生産物のブランド化と販売ルートの確立、さらには生産組織の強化、担い手の確保による経営の安定化を図ります。</p> <p>次に、作業環境の向上に向けては、農道、林道を初めとする生産基盤の整備充実を進めます。</p> <p>次に、生産者と加工業者、さらにはそれを販売する商業者、観光業者等の連携をコーディネートし、第1次産品を生かした特産加工品の開発と地域のブランドイメージの付加、さらにはそれらの地域内消費や産直販売など、価格競争とは一線を画した流通経路の確立による経営の安定化を図ります。</p> <p>林業においても、付加価値の高い大径良質材の育成に向け、適正な間伐を実施します。また、地域材を用いた住宅建設等の促進に向け、営林団体と住宅の設計・施工業者とが互いに連携を図りながら、人に優しい低廉な木造住宅の提案・PRを進めていきます。</p> <p>最後に、農業法人の設立促進など、生産者の組織強化を図るとともに、新規就農希望者に対する農地等のあっせん及び農業指導体制の構築など、担い手の受け入れ体制の充実を進めますということで、下側に今申しました分のまとめを書いております。</p> <p>そして、54ページ、地域の魅力を創造・発信する商工業の振興。</p> <p>商工業の振興に向けては、地域の魅力を創造・発信する特色ある商業集積の形成と事業所活動の促進を図ります。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>地元生産物や加工品を地域住民及び代表者が購入・消費する場として、駅前等の利便性の高い地域での商店街（商業集積）の再生を図る。また、そのため、空き店舗の活用・あっせんなど店舗誘致に向けた支援を実施します。</p> <p>また、地域住民の日常的な買い物利便性の向上を図るため、インターネットを利用した購入、代金支払いシステムの構築など、商業者による多様な買い物サービスの構築を支援します。</p> <p>最後に、神崎工業団地の未売却用地への企業誘致を促進するとともに、食品加工や林産加工等、第1次産業と連携した付加価値の高い特産品づくりを行う事業所活動に対し支援を行いますということで、下側にまとめを書かさせていただいています。</p> <p>以上で2）「命・いきいき」の部分についての説明を終わらせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま説明がありました「命・いきいき」～自然の恵みと共に生き、力強い命の躍動・活力をはぐくむまち～につきまして、ご意見、ご提言をお願いをいたしたいと思います。</p> <p>どうぞ。</p> <p>ございませんか。</p> <p>どうぞ。</p>
坂田委員	<p>神崎町の坂田でございます。</p> <p>52ページのところですけれども、自然環境の保全・適正管理のところの黒丸のちょぼの2番目のところで、自然環境の保全に向けては云々と、こういうことでずっとときとんですけれども、自然環境の保全に向けて不法投棄や環境汚染に対する監視の仕組みづくりというのは、ちょっと短絡したような表現になっておると違うかなと思います。</p> <p>下の枠の中で、主な事業、下のまとめの枠、主な事業取り組みの中では、循環型社会に向けた廃棄物の適正処理という、循環型社会に向けての取り組みの中でこの分別回収とか不法投棄とかが出てくるんじゃないかと思う。ちょっと、自然環境の保全に向けてというのは、ちょっと意味合いがずれておるといふうな気がするんですけど、短絡しているんか取りすぎているのかというような、全く違うということじゃないと思うんですけども、ちょっと理解しがたい部分がありますんで、おかしいというほどではないと思うんですけど、もうちょっとわかりやすくした方が。</p> <p>循環型社会に向けた何かということであれば、何らおかしくないと</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
<p>井上（委員長）</p> <p>高橋委員</p>	<p>思うんですけど、ちょっと思いましたので、何か。あとはもうきれいにまとまって、今までの資料に比べると、ずっと今回の資料はよう整うてますんでわかりやすいんですが、ただ先ほど日和さんがおっしゃったように、何か変化というんですか、力強さというんか、何かそれが全体的にないというふうな気持ちは、まとまり過ぎて何か優等生の答弁みたいなんで、何かもうちょっとぱっと力強いところが、打ち出すところが全体にあってもええんと違うかなというふうなものがあるんですけども、このサロンのところなんかでも、もうちょっと具体的に何かサロンのあり方というんですか、特に阪神大震災の後、サロンづくりというのは、拠点づくりというのが阪神間でもずっと行われてきた、私も何回か言ったんですけども、取り組みがなされておるわけですけども、やっぱりその辺のところをこれからどう整えていくかというのは、もうちょっと力強さがあってもええんやないかなと思うんですけども、重要なこれからのあり方であろうと思うんです、地域の社会構造の中で。</p> <p>特に、阪神の震災の後、見ていったんでは、結構うまいこといってるところもあるんで、その辺の旧というんですか、現在のある自治会組織とサロンのあり方というのとの整合性というんですか、そういうものの、そのリーダー格をどうしていくかとかいろいろあると思うんです。そのお世話する人のあり方というのも。その辺のところの仕組みづくりというのは、ひとつ考えないかんのやないかなというのが、ちょっと力強さ、全体的に、思います。</p> <p>以上です。ここのところはちょっともう一遍検討してもらえたらと思います。</p> <p>ほかに。</p> <p>どうぞ。</p> <p>神崎、高橋です。</p> <p>52ページなんですけども、の美しい自然をまもり、豊かな産業を育てるまちづくりと、こうあるんですけども、戦後になるんですけども、農林業、特に両町にとって森林等、大多数を占めておると思うんですけども、教育のカリキュラムの中にというんか、現場で教える中で、今まで農業について、米について、あるいは水について、詳しく説明あるいは教材として取り上げた、確認、の中に教材があっただろうかとつくづく今思っ反省しておるんですけども、そういう米づくりとか、あるいは林業の森の役目、そういうものあるいは道路、道の田舎の細かいところまで網の目のように道がついていますが、その</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>道の歴史、この道は過去どんな人が通っただろうか、そういう想像していくような教材が余りないように思うんです。</p> <p>そして、山は保安林で、ここに水源涵養機能とか山地災害防止機能とか、保安林もたくさんの保安林があるようなんですね。あるいは海の方に行くと、山の木を見て船が航海を目安に行く、そういう保安林もある。たくさんの保安林、そういう保安林の役目とか、そういうものも大事なことだと思うんですがね。</p> <p>そういった内容を織り込んで、相互にどういう働きを持っておるのか、人間、現在の日常生活をこういうお米とか、あるいは森の木とか、目の前に例えば畳の中、下をめくればわらが入ってますが、あるいは森ではおはしを使ったり、あるいは家の柱とか、その辺木を使っておる。そんな目に見えたところの教育というものがもっとじかにできないだろうか。また、今後の新しいまちづくりに子供たちの教材の中に、そんな内容を織り込んでいかなければ、大人と子どもつながりとか、そういうものも生まれてこないんじゃないかと思うんです。</p> <p>以上です。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>ほかに。</p> <p>ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>ほかにならぬようございましたら、また後ほどお聞きをいたしますので、またよろしく願いをいたします。</p> <p>それでは次に、「心・ふれあい」～住民どうしの顔が見え、人と人とのふれあいが生まれるまち～につきまして、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
吉岡（事務局）	<p>そしたら、55ページになります。</p> <p>3)「心・ふれあい」～住民どうしの顔が見え、人と人との心のふれあいが生まれるまち～。</p> <p>「まん中」という地の利を活かし交流を促進するまちづくり。</p> <p>観光地、観光施設の利用促進。</p> <p>多数の観光地、観光施設の利用促進に向け、各施設内容の魅力化や案内機能の強化、さらには特色ある体験プログラムの創出による集客力の強化を図ります。</p> <p>施設内容の魅力化に向けては、類似施設を対象に地域住民自身による利用促進に向けた施設のリニューアル整備を進めます。</p> <p>体験型観光を地域の観光メニューとして定着させるため、地元農家</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>や営林家、住民等を体験学習のインストラクターとして育成するとともに、四季を通じた多数の体験プログラムの創出を図ります。ということで、下側に事業の取り組み及び内容についてまとめを上げさせていただきます。</p> <p>次に、地域全体の魅力化と特色ある交流活動の推進。</p> <p>鉄道駅やインターチェンジから観光地、観光施設等を結ぶ多様な観光ルートの設定を進めます。さらに、住民・行政の協力のもと、身近な環境の美化及び観光ルートを意識した公共空間の緑化、植栽の実施等により、観光地間の美しい風景を創出していきます。</p> <p>その際、越知川名水街道のような既に実績のある特色ある回遊コースの拡大やスタンプラリーの導入などにより、観光地、観光施設等をつなぐ仕組みづくりを行います。</p> <p>最後に、特色ある祭り、イベントの継続的開催を行うとともに、イベント開催時における他の観光地や体験プログラムとのパッケージ化を図るなど、地域内での滞留性の強化に取り組みますということで、56ページにそのまとめを上げさせていただきます。</p> <p>次に、広域的な観光・交流ネットワークの推進。</p> <p>西播磨、北播磨、但馬、丹波等、周辺地域に働きかけて、共同特産市を新町の駅前地区等において定期的で開催し、都市住民の呼び込みを図ります。</p> <p>さらに、体験観光に係るメニューのタイアップ、観光ルートの設定など、圏域全体としての滞留性強化に向けた連携を進めます。</p> <p>圏域全体としての連携基盤として、山間部をつなぐトンネルの整備構想の推進に向け、関係団体への働きかけを行います。ということで、主な事業・取り組み、取り組みの内容について下側に具体的に上げさせていただきます。</p> <p>57ページに入ります。</p> <p>住民・地域のやる気が活きるパートナーシップのまちづくり。</p> <p>まちづくりへの参画意識の醸成。</p> <p>パートナーシップのまちづくりを目指し、住民の参画意識の醸成を図るべく、広報活動における行政情報の積極的公開や各種対話機会の充実を図ります。</p> <p>行政情報の公開に向けては、広報紙のほかホームページ等を活用したまちづくり情報の提供を充実させるとともに、職員一人一人が行政の広報マンとなって自治会（地域サロン）等に対して積極的な情報提供を行っていきます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>最後に、重要な施策決定に際するアンケート調査の実施等による住民意向の把握に努めるとともに、各種懇談会等の住民と行政の直接対話の場を設け、住民の参画意識の醸成と行政推進に対する理解醸成を図っていきますということで、下側にまとめを上げさせていただいております。</p> <p>次に、住民による主体的な地域づくりの推進。</p> <p>住民による主体的な地域づくりの推進に向け、「地域サロン」や「住民自治組織」の担い手となる人材・団体等の育成を図るとともに、住民意向を踏まえた政策決定の仕組みづくりを進めます。</p> <p>地域サロンにおいてリーダー的な存在となり得る人材の発掘、育成に取り組むとともに、将来的に自立した組織として主体的な活動展開が期待されるNPOやボランティア団体等の育成に取り組みます。</p> <p>小学校区等のまとまったエリア全体の問題に対し、協力・連携しながら解決していく地域自治組織の設立を検討します。また、地域自治組織における決定事項やまちづくりに関する意向を政策に反映させるための新たな仕組みづくりを検討しますということで、具体的な中身等についてまとめを58ページの中で上げさせていただいております。</p> <p>最後に、58ページ、真ん中ほどです、高率的・効果的な行財政運営の推進。</p> <p>行政経費の削減を目指し、より効率的な行政運営を実施するための行政体制の再構築やIT基盤を活用した円滑な行政事務の運営や行政サービスの提供に努めます。</p> <p>庁舎機能の適切な配置を図るとともに、既存施設を有効に生かし、多様な住民の価値観やニーズに対応した効率的な機能の導入を検討していきます。</p> <p>また、情報技術を活用した行政情報、行政サービス等の提供体制を整備することにより、いつでもどこでも同じサービスを受けられる環境の整備を進めます。</p> <p>施策や事業の実施に際しては、その有効性や効率性を常に評価し、事務事業を見直すことによる行政事務の簡素化・合理化を進め、行財政改革に努めますということで、具体的な取り組み及びその内容について下側の囲みの中に上げさせていただいております。</p> <p>ということで、以上で「心・ふれあい」についての説明を終わらせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>ありがとうございました。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>ここで10分間休憩をいたします。</p> <p>午後8時22分 休憩</p> <p>午後8時32分 再開</p> <p>会議を続けたいと思います。</p> <p>先ほど事務局からご説明がございました「心・ふれあい」～住民どうしの顔が見え、人と人との心のふれあいが生まれるまち～につきまして、ご意見等をお願いをいたしたいと思います。</p> <p>どうぞ。</p>
西畑委員	<p>今、いろいろと施策なり取り組みなりの内容等で、いろいろと上がっておるんですけど、この効率的・効果的な行財政の運営の推進という項目の中で、果たしているんな施策と行財政という点の検討的なものは今後の中で協議されていくのか、そういったところ辺のところが点はどうなるのかなということが、ちょっと不安なところがございしますので、そういった面ではどのような考え方で考えておられるのか、ちょっと教えていただきたいというふうに思います。</p>
浅田（事務局）	<p>先ほどのご質問ですけれども、まず1つ、今回の主要事業の取り組み、そういったものについて各委員さん方からすれば、何かぼやかした表現ではっきり明記されてないのでわかりにくいと思われる委員さんが大半かと思えます。</p> <p>先ほど西畑委員さんの方からございましたように、当然この後に財政計画というものが最後にはひっついてまいります。神崎・大河内両町のそれぞれ合併をした場合の国からいろいろ支援を受ける補助金、また合併特例債、そういったものとの整合性というものがやはりこの新町建設計画の中に大きな位置づけ、またウエートを占めてまいりますので、その辺の個々の事業については、この新町建設計画の中では具体的な明記はさせていただいておりませんが、この中には県の事業とか、また合併特例債の事業、そういったものの事業を重点的な項目から、やはり財政の許す限り進めてまいりたいというふうに考えておりますので、すべてができれば一番いいんですけども、なかなかそこまで財政的にも難しい点はございますので、こういうふうな表現にさせていただいております。その点をまずご了承くださいたいと思います。</p> <p>それから、56ページの主な事業の取り組みの中で、広域交流ネットワークの整備という箱の中の下2つ目の方に、栗、これは大河内の長谷の方にある地域ですけれども、栗・大山トンネル構想の推進、それから大河内の上小田・宍粟郡一宮町の染河内トンネルと、このあた</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
<p>井上（委員長） 奥野（恒）委員</p> <p>浅田（事務局）</p>	<p>りは本当に夢物語かも知れませんが、やはり夢というものは実現するものでございますので、1万3,500人の地域の力で何とかこういった大構想をなし遂げられるというんですか、そういう目標を掲げて、やはり縦のラインよりも横をつなぐ、そのためにはやはりこういう中山間地域の山のところでは、やはりトンネルというものがこれから大きなそういう経済交流、いろんなもので必要になってこようかと思っておりますので、あえてこのあたりはこれから県、また国といったところとの調整を図りながら、いつになるかわかりませんが、あえてこういう形で上げさせていただきました。</p> <p>したがって、一番最後にこの計画の中にひっついてまいります財政計画といったものとの整合性が必要になってまいりますので、個々の固有名称については省略をさせていただいておりますという点でご了承いただければと思います。</p> <p>以上です。</p> <p>ほかに。</p> <p>神崎町の奥野でございます。</p> <p>57ページの一番下の方の住民による主体的な地域づくりの推進で、ここへ出る小学校のエリアで、地域自治組織の設立を検討するという事なんですが、この集落よりも少し大きい自治組織だと思っておりますが、その辺ちょっと説明をお願いします。</p> <p>それでは、先ほどの質問で、少し時間をとりまして申しわけございません。</p> <p>地域自治組織という組織なんですけれども、これも今年の5月からワークショップをしていただく中で、両町の間各小学校区単位といいますが、そういった単位もしくはもう少し集落を絞った中でいろいろ新しい町になりますと、それまでは小さな町でいろんな行政への要望というものができておったかと思っておりますけれども、やはり大きくなればそういう住民の皆さん方の声がなかなか届きにくい部分が出てくるといった中で、今回この市町村の合併を進める中で、こういう地域自治組織といったものも法律の中でうたわれておるようになっております。</p> <p>しかしながら、私どもの新町におきましては、それぞれ39の集落といった中でございますので、小学校区も両町で、大河内が5、神崎が4といった形でございますので、そのあたりぐらいでこういった組織も可能かなということも考えながら、もう少し小さな部分での地域自治組織といったものも検討してまいりたいというふうに考えておる</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
<p>奥野（恒）委員 井上（委員長） 上垣委員</p>	<p>ところでございます。</p> <p>いわゆる地域の住民の皆さん方の声が少しでも行政に届くような形で、行政とのパイプといいますか、そういったものができるような形でこの組織の、仮称ではございますけれども、立ち上げを考えておるところでございます。</p> <p>以上です。</p> <p>わかりました。</p> <p>どうぞ。</p> <p>大河内町の上垣です。</p> <p>56ページの事業の取り組み内容ということで、先ほど事務局の方から基本説明はありましたけども、広域交流ネットワークの整備という中で実現可能性ということから判断しますと、新町に仮になったとして、旧町、大河内町の実現可能性事業というのは何かないのかなという思いと、もう一点、一番下の黒川新田線改修事業ということをちょっとお尋ねしたいんですけども、先日私も新田から生野町の黒川、恐らく梅ヶ谷の方に抜ける線かなと思っておるんですけども、一回通ってみたんですけども、あれの改修事業のことなんかどうか、その2点のことをちょっとお聞きしたいのでよろしくお願いします。</p>
<p>内藤（事務局長）</p>	<p>まず、黒川新田線の件でございますが、生野の黒川と神崎町の一番北の新田を結ぶ林道でございますが、ただいまはすべて開通をしておりますが、今後のり面改修とか舗装等を踏まえまして、林道でありながら生活道として改修していくという一つの辺地事業といったもの、あるいは森林総合整備事業といった事業の一つのレーンに乗っておりますので、一応ここに上げております。</p> <p>それからもう一つ。</p>
<p>芦田（課長）</p>	<p>大河内町まちづくり課長の芦田でございます。</p> <p>大河内町にとって夢のある事業はないのかというご質問でございます。</p> <p>まちづくり担当いたしております中で、便利過ぎたら町の観光のイメージも悪くなるかもしれませんが、住む人にとっても快適ないろんな選択ができる条件というような点からは、やはりこのトンネル化ということが一つの大きな夢であり、地域の役割、選択肢ができる地域の位置づけが大きく変わるんじゃないかというところで、役場の中でもそれぞれの担当で夢を持って事業化に取り組みたいという思いで上がっておるところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
上垣委員 井上（委員長） 藤原（博）委員	<p>一応、趣旨はわかりました。</p> <p>ほかに。</p> <p>大河内の藤原でございます。</p> <p>40ページなんですけど、まちづくりの目標はわかるんですけど、次の施策の柱とありますこの6つですが、これが一番大切なんじゃないかなと思うんですけど、ちょっとこれを見ますと、余りにも修飾語が多いという感じがせんでもないんですね。端的に、すばっと主要施策の一つのような教育・文化を創造するまちとかという、そういった言葉でぼんと来ますと、私らにもとりやすいんですけどね。</p> <p>3番で言えば、地域風土と調和した生活・文化を創造するまちづくりと、こういうかなり修飾語がついた表現になっておりまして、ちょっととるものにすれば何を述べてるのかなという気がせんでもないんですけどね。本当、これ私だけなのか、皆さんどうお考えなのか、ちょっとわからんですけど、もっと短く端的で、ここは何を述べてるんだなということの方がちょっと私らにとってはわかりやすいような気がしまして、ちょっと、この真ん中の施策の柱というのが一番大事やと思いますんで、ここでこういう表現の仕方もあるんかもしれるんですけど、ちょっと私を感じた、そんなところでございます。</p> <p>以上です。</p>
浅田（事務局）	<p>先ほど藤原委員さんの方からご意見というか、ご指摘のございましたそのあたりにつきましても、再度また事務局の方でその言葉のとらえ方、また表現の仕方、そういったものにつきまして私どものコンサルと十分調整をしながら、もう少し本日も出ておりました全体のいわゆる主要施策でありながら力強さ、そういったものが感じ取れない、そういったところも意見として出ておりましたので、そのあたりもあわせてトータルの再検討させていただければというふうに考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
藤原（博）委員 井上（委員長） 藤原（日）委員	<p>はい、了解です。</p> <p>どうぞ。</p> <p>表現ということも出ましたんで、ちょっと細かいことを言うんですけども、41ページの左側の下から2番目、ちょっと誤字だと思うんですけども、「適確に」というのが、「的」の方だろうと思うんですけども、49ページの上から8行にも書いてありますように、こちらの方の「的確」はちゃんとした「的確」になっておるんですけども、41ページの左側の方は「適当」の「適」になってますんで、これを</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
浅田（事務局） 井上（委員長）  堀口委員	<p>「的」にかえていただきたいという点、これがまず1点。</p> <p>それから、49ページの下から2行目、「携帯電話の不通和」、これが「和」になってます、「話」の方。</p> <p>それと、58ページのちょうど真ん中辺になりますけども、「効率的な機能の導入を検討してきます」になってますんで、「検討していきます」。「い」が抜けてるのかなと。ちょっと細かいことですが、</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>どうぞ。</p> <p>神崎町の堀口です。</p>
芦田（課長）          堀口委員	<p>「心・ふれあい」の部と違うんですけども、53ページの豊かな自然を基盤とした農林業の振興というところで、この文章の中の終わりの方に、「経営の安定化を図ります」という言葉が載っておるんですけどね、その3つ目にも同じように「経営の安定化を図ります」という言葉が入っておるんですけども、どういうふうに経営の安定化を図る施策というんですか、どういうふうな取り組みをされるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。</p> <p>大河内町まちづくり課長の芦田でございます。</p> <p>目指すところの思いを表現してあるところで、ご指摘のようになかなか安定化は難しいところがございますけれども、その地域の特性を生かしたブランド化というところにねらいがございます。市場原理ではなかなか対応できないところをこの中山間地域、特に源流地域で生産されました農作物、林産物等が稀少価値があるというようなところで、ブランド化として認められまして、そういう仕組みづくりの中で安定化した産業づくりに結びつけたいというような思いを込めておるところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
芦田（課長）	<p>わかりました。やはり、私からすれば、経営の安定化となれば、ある程度経営の仕方とか、いろんなそういう経営者に対するアドバイスというものをされるものなのか、金融的な支援をされて安定化図るものなのか、それともまた施設関係をこうしなさい、あしなさいということで、その施設の充実を図るためのものをしていただくものなんか、その辺のところどういうふうなことなのかなと思ってちょっと質問させてもらった状態です。</p> <p>ご指摘の部分、やはりそういうような仕組みの確立の中で支援が必</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
堀口委員 井上（委員長） 藤原（日）委員	<p>要ということになりましたら、そういう課題につきましては、その都度段階におきまして協議をし、支援の必要なものにつきましては支援をしていこうということになるものだと考えておるところでございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>わかりました。</p> <p>どうぞ。</p> <p>細かいことばかり言って済いません。42ページの左側の一番下の「観光・交流を通じた、地域産業の進行」ですけども、「進」むんじゃなくて、奮い起こす方の「振興」に変更していただきたいと思いません。</p>
井上（委員長） 日和（副委員長）	<p>どうぞ。</p> <p>大河内の日和です。</p> <p>例えば55ページの上から4行目の右の方ですが、案内機能の強化とあります。実は、前回でしたかワークショップの際に、今日もいらしてます廣納委員さんの方から提言がありましたんですが、その町内の内容をPRするに当たりましては、同窓会なんかでPR誌を持っておったらどうかということで提言いただいたときには、私実践してみようと思ひまして、ちょうど同窓会がありましたので、大河内のパンフレットを持って行って同級生にいろいろ話をしました。そうしますと、たまたま神戸市灘区の女性の方でしたが、ちっちゃな店を持ってんだということで、じゃあそこへ置いておきますということでございました。その人もなかなか積極的でして、町内にも来てるそうなんですが、皆さんを連れていきますよということでございました。</p> <p>そういうことで、ここの案内機能の強化ということに当たりましては、インターネット等は有効なことはもちろんでございますけれども、やっぱり人と人とのつながりによる案内機能を強化をすべきというふうに思います。</p> <p>したがって、これもまたボランティアとか、そういうことになるのかと思いますけれども、そういう案内をすると。ついであってもしいいんではないかと思われまますので、人から人への案内ということも非常に大事なんじゃないかなということから、そういう組織もあってもいいんではないかと。そういう項目も設けていただけたらというふうに考えます。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございました。</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
坂田委員	<p>ほかにございませんか。 どうぞ。 坂田でございます。</p> <p>42ページのところ、交流促進に向けた取り組みの一番上のちょぼのところなんですけども、「現在の観光施設の利用促進に向け、一度来ていただいた方に再度お越しいただくための、優待制度を検討する」、こうあるわけなんですけども、最初から何か優待制度というのを具体的なもの、何か優待をすることを何か施策、物を作って、何かそういう発想じゃなしに、やはり再度来ていただくためのもっと魅力あるものを考えていった結果としては優待制度が生まれるんかもしれませんけども、もっと魅力ある施策というんですか、方法を考えていくような取り組みをしていただけたらと思うんですけど、これは何かえさを用意しますわというような、そういう感じで受けとめたんですが、ちょっと私が読み違いというんですか、考え違いなんか、ちょっとそういうことやなしにほんまに魅力あったら何遍でも見に行こうかと、こうなると思うんです。行こうかということになるんで。</p> <p>やはり、そういう優待制度があるからということでは、それだけで何かえさで釣ってるだけで、それを2へんも同じ者を優待してもうても、そんな魅力的ではないと思うんですよね。2回行くと何か安うして、ほんなら10回行ったら割引制度があるとかという、そういう優待というのじゃなしに、もっと行きたいという心を奮い起こさせるような検討をすべきじゃないかなと、このように思うんですけども。</p> <p>以上です。</p>
井上（委員長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかにございませんか。</p> <p>一通りの意見交換をいただきましたし、また全体を通じましてもしそれぞれご意見をいただきましたが、ほかにご意見等ございましたらお受けをいたしたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>ございませんか。 ございませんか。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>それでは、ほかにご意見がないようでございますので、今後の日程等につきまして事務局のご説明をお願いをいたします。</p>
浅田（事務局）	<p>本日はありがとうございました。また次回に、本日の積み残しと言ったらあれなんですけれども、次回にもこの主要施策、大変重要なポ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
	<p>イントでございますので、ご意見等、次回もございましたらどんどん申し出ていただければというふうに思います。</p> <p>お手元のレジユメの4点目に上げさせていただいております第9回の新町建設計画の小委員会なんですけれども、申し合わせによりますと、次回は土、日というんですか、休日の開催日という予定になるんですけれども、時間的な制約もございまして、大変恐縮なんですけれども、8月27日金曜日に1時半から、大河内の保健福祉センターの方で開催をさせていただきたいというふうに考えておりますので、大変恐縮なんですけれども、あと一步でございますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>内容につきましては、そこに書かせていただいておりますように、第4章新町における主要施策の修正分の再討議と本日の資料の1枚目の目次の方を見ていただきますと、4の主要施策の次に5の公共的施設の統合整備といったものがございまして、そのあたりを各委員さんの中で協議をいただきたいというふうに考えております。</p> <p>なお、本日冒頭に出ました地域自治組織、このあたりにつきましてはもう少し詳しく次回の小委員会の方で各委員さん方にご説明をさせていただきたいというふうに考えております。</p> <p>また、こちらの方で今日の意見を受けまして気がついた部分、また若者のそういうとらえ方、それから主要施策としては少し弱いといったあたりも少し再検討させていただければというふうに考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、大変恐縮なんですけれども、その他ということで、8月25日に、これは合併協議会の協議会の委員さんの方になるんですけれども、第9回の合併協議会、8月8日の開催予定が延びておった分ですけれども、今の段階では8月25日水曜日なんですけれども、申し合わせどおり開催をできればというふうに進めております。</p> <p>このご案内につきましては、また各委員さん方にご通知を差し上げますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>一応、予定ということで8月25日、第9回の合併協議会を開催する予定をさせていただいております。よろしくお願い致します。</p> <p>なお、8月6日は、明日は大河内のいつもやっていただいております保健福祉センターの方で夏祭りが、あさって7日にはこのK-netの前の中学校のグラウンドで神崎の夏祭りがそれぞれ開催をされます。どちらも天候よく開催されると思いますので、これも一つの新町の建設計画といえますか、それぞれの両町で実行委員会方式で行われ</p>

発 言 者	議 題・発言内容・決定事項
井上（委員長）	<p>ておりますので、また委員さんにおかれましては双方の夏祭りも見ていただくのは一つのこういう参考になるのかなというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今事務局の方から今後の日程等についてご説明をいただきました。何か聞いておきたいなということがございましたら、どうぞ。</p> <p>〔「なし」と呼ぶ者あり〕</p>
井上（委員長）	<p>それでは、ほかにはないようでございますので、会議を閉会させていただきます。</p> <p>本日は大変お疲れの中を遅くまでご議論をいただきまして、ありがとうございました。しかも、熱心な討議をいただきましてありがとうございます。</p> <p>新町建設計画もいよいよ大詰めに迎へ、8月いっぱいでの全体の取りまとめがなされるようになっております。</p> <p>委員の皆様におかれましても、今後まだまだ暑さが続くようございますので、十分ひとつ体に留意をしていただきまして、公私にわたりましてご活躍をいただきますようにご祈念を申し上げまして、本日の委員会を閉じさせていただきます。</p> <p>本日は大変遅くまでご苦勞さんでございました。ありがとうございました。</p>